

妙義・星穴岳 2014/11/02

メンバー：落合 CL, 久我 SL, 小林, 飯野

天候：晴れのち曇り

中ノ嶽神社 6：50 主稜のコル 7：35 西岳 8：30 星穴岳 10：10（他パーティー待ちでのんびり休憩）射抜き穴 11：40 結び穴 12：40 中ノ嶽神社 13：50

表妙義の星穴岳にぽつかりと空いた二つの穴、巨人が弓と矢を作り岩山を射抜き、おにぎりを投げつけて出来たという伝説が残されている。

この二つの穴は夜空に光る星のようにみえることからこんな呼び名になったというが、そんな伝説や星穴というロマンチックなネーミングに心を惹かれていた。

今回はその矢とおにぎりで出来た二つの穴（射抜き穴と結び穴）を巡る。

当日は低気圧と前線の通過で山行が危ぶまれたが運も味方し予報は好転、雨上がりの空はキレイに澄み渡っていた。

中ノ嶽神社からは見晴台経由で主稜のコルに出る、ここまで一般登山道だが主稜線はバリエーション・ルートの領域なので左右スッパリ切れ落ちている箇所が多く気を抜かないよう慎重に登りたい。

西岳に行く途中でガイド登山のパーティーと出会い、ロープを出す箇所でオブサベしていたので我々も焦らずゆっくり登ることにする。

途中怪しいフィックスロープが張られている箇所がいくつかあるが、フィックスは落ちたら終わりなので安全・練習のつもりで数回ロープを出した。

やはり自分たちで確保しあった方が気負いなく登れるし、安心なのは言うまでもない。



西岳からみた錦秋の星穴岳

懸垂下降は西岳から北面を下降、星穴岳山頂からの下降、射抜き穴、結び穴で計 4 回行った。

射抜き穴は星穴岳山頂直下から下降するが、主稜線からは下が見えず途中から空中懸垂となるのでドキドキ感が堪らない。

上からは真下に穴が空いているのは分からぬので下降してはじめてその存在に気づく。

日頃の行いが悪い人は途中で宙吊りの刑を受ける。。（ロープは 50m×1 本のみで下降可能）

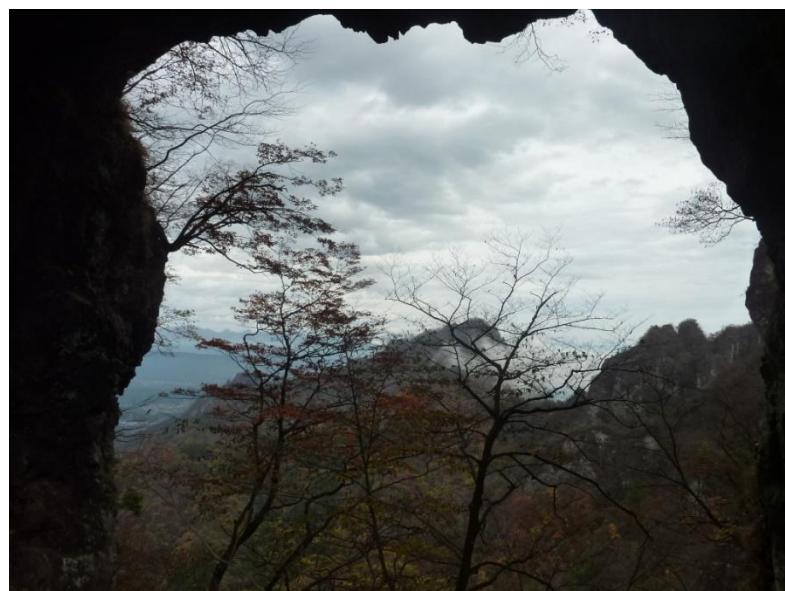


射抜き穴への懸垂下降



結び穴への懸垂下降は 45m 程でナカナカ豪快だ（ロープは 50m×2 本使用）

下降してから西側のルンゼを登り返すと結び穴にたどり着くことが出来る。



結び穴からみた表妙義はまるで山水画のような風景。



結び穴からの下山は基点の中ノ嶽神社に戻るが、地形図には表れない小さな尾根や沢を何度も横断しながら進む、コンパスを切って方角さえ間違わなければ特に難しさはなかった。

藪もほとんどないので歩きやすい斜面を拾っていくと、途中尾根から神社の駐車場が見え轟岩横の登山道に出て神社に戻り終了。

全体的な所見としては、星穴は妙義でしか楽しめないバリエーション・ルートのひとつで一見の価値あり、技術的に困難な所は無いが確実なロープワークやルート・ファインディング力を問われるので登攀技術を学ぶ好ルートと呼べる。

装備は 50m ロープ×2 本の他に、8mm×30m を 1 本追加すると補助として便利。

ちなみにこの星穴伝説は、巨人が射抜いたとされる弓矢が妙義神社に奉納されており、矢を放った場所（横川）に足跡石が残されている。

射抜かれ岩盤は反対側（下仁田町の最奥）に大きく曲がりながら落ちて突き刺さり、高立一本岩になったという。（この岩峰はのちに山野井さん夫妻らにより初登されたのも未だ記憶に新しい）

伝説や謎は様々な説があると思うが、登山とはまた違った視点から星穴の神話を紐解いてみると今回の山行もより味わい深く心に刻まれることだろう。

(記録 落合)